

第8回フルラス岡崎記念 先端シンポジウム

グローバル競争を勝ち抜く人材育成と経営

——— 米国とも中国とも違う第三の成功のシナリオは描けるのか? ———

日 時 2015年9月18日(金) 9:30 ~ 17:15
会 場 東京ビッグサイト会議棟 1F 101号室
主 催 フルラス・岡崎記念会
共 催 日本セラミックス協会
協 賛 ファインセラミックスセンター、日本ファインセラミックス協会、
フジサンケイビジネスアイ
参加費 一般 10000円、主催・共催会員 8000円、学生 5000円 (含要旨集)

世界のグローバル化、ボーダーレス化が急激に進む中、これからも日本の企業が、世界市場でナンバーワン、オンリーワンとなる製品を創出し続け、勝ち抜いていくために必要なものは何なのか? これからの日本の産業界を担う若者たちを、どう育てていけば良いのか? 今回のシンポジウムは、これまで若手人材の育成や、事業化経験が豊富な8名の講師の方々をお迎えし、それぞれのご経験に基づく「グローバル競争を勝ち抜くための人材育成と経営」について、様々な角度からご講演いただきます。

プログラム

9:30~9:40 開会の辞 フルラス・岡崎記念会 会長 鶴見 敬章

9:40~10:25 「産学が連携して育てよう、グローバル人材」

上海交通大学致远講席教授・学長特別顧問、平野材料創新研究所長

元名古屋大学総長・前大学評価・学位授与機構長

平野眞一 先生

企業のグローバル化が進むなかで、大学へのグローバル人材育成への要請が強くなって久しい。国も各種のグローバル人材育成プログラムを通して大学を支援してきているが、わが国はグローバル人材として何を求めるか、産学連携を通しての人材育成を考えたい。

10:25~11:10 「未来を牽引するリーダーの育成」

慶応義塾大学経済学部 教授 井奥洪二 先生

科学技術は日常の利便性向上とともに、エネルギー不足や気候変動などリスクを拡大している。このような便益とリスクを熟慮した未来を創る鍵は、自然科学と工学と社会科学の融合にあり、未来を牽引するリーダーの育成においても鍵となるであろう。

11:10~11:55 「Human Health Care を基軸にしたグローバル人材の育成と研究開発力」

エーザイ(株) 上席執行役員 鈴木蘭美 先生

国籍・国境・性別・年代を超えてすべての社員に推奨している「就業時間の1%(年に二日)患者様の傍らに寄り添う活動」を、エーザイの定款、人材育成、並びに研究開発力の根幹として紹介する。

11:55～13:00 昼 食

13:00～13:45 「イノベーションを興すリーダーと創発人材」

元キヤノン（株）材料技術研究所所長 村井啓一 先生
企業成長に貢献するイノベーション創出の必要条件である牽引できるリーダー人材とは、優れたアイデアを創出できる創発人材とは、そして、彼らを活躍させるには、リーダーシップとマネジメントを実務的な観点で議論したい。

13:45～14:30 「世の中の大きな潮流変化。今後の企業成長を左右する”意識”と”施策”」

（株）ドリームインキュベータ 執行役員 宮宗孝光 先生
国内市場の成熟化、新興国の台頭などにより利益創出が難しくなる一方、最高益となる企業も存在している。製造業を中心に大企業・ベンチャーの成長を多数手がけた経験より、今後の企業成長を左右するポイントを事例と共にお伝えする。

14:30～15:15 「海外出張でのトラブルと対応」

元（株）村田製作所 常務執行役員 萬代治文 先生
新しいセラミック材料を開発し、携帯電話向けの部品を製造・販売する事業を興した。事業開始から10年で1000億円の売り上げを達成。得意先に売り込むために、120回ほど海外出張したが、いろいろなトラブルに巻き込まれる。

15:15～15:35 休 憩

15:35～16:20 「グローバル大競争に勝ち続ける企業は美女なり～」

昭栄化学工業（株） 取締役 野村武史 先生
大競争時代に勝ち続けるために最も重要なのは『個人』ではなく『組織』であり、そのための人材育成である。利益は基本理念追求の手段でしかないという経営哲学を維持する企業こそが勝ち続ける美女なり～Companyである。ある電子セラミックスの開発の歴史を振り返りながら考察する。

16:20～17:05 「産総研技術移転ベンチャーによるナノマテリアル開発の事例紹介」

NSマテリアルズ（株）代表取締役 金海榮一 先生
NSマテリアルズを事例に、産総研技術移転ベンチャー創出についてと、これまでの産総研との取組み、そして、移転技術によるナノマテリアル開発の実績と今後の方向性について紹介する。

17:05～17:15 閉会の辞 フルラス・岡崎記念会 副会長 岡本 明

参加申し込み（先着100名、事前にお申込みください）

フルラス・岡崎記念会事務局（office@fokin.com）まで、電子メールで送ってください。

メールタイトル：第8回フルラス岡崎記念先端シンポジウム参加申込み

記載内容：氏名、所属